

研究報告書第88号

平成27年度 教科に関する研究

研究主題

学習指導上の課題を踏まえた，児童生徒の
学びの充実を図る授業づくり



茨城県教育研修センター

平成27年度 教科に関する研究

研究主題「学習指導上の課題を踏まえた、児童生徒の学びの充実を図る授業づくり」

1 研究の趣旨

現行の教育課程における各教科等の学習指導上の課題を踏まえ、児童生徒に確かな学力を身に付けさせるための実践的な研究を行い、各学校での授業づくりの改善・充実に資する。

2 研究主題

(1) 「教科に関する研究」の研究主題

学習指導上の課題を踏まえた、児童生徒の学びの充実を図る授業づくり

(2) 教科別研究主題

- 算数・数学（小学校，中学校，高等学校）
知識・技能を活用する力を育てる算数・数学科授業づくり
—活動内容を焦点化した学習過程の工夫を通して—
- 音楽（小学校，中学校，高等学校）
表現領域における表現力を育てる音楽科授業づくり
—思考・判断し，表現する一連の過程における学習活動の工夫を通して—
- 体育・保健体育（小学校，中学校，高等学校）
豊かなスポーツライフのための基礎的な力を育てる体育・保健体育科授業づくり
—球技（ベースボール型）の系統的な学習過程の工夫を通して—
- 外国語活動（小学校）・外国語（英語）（中学校，高等学校）
英語を使う力を育てる外国語活動・外国語（英語）科授業づくり
—小・中・高等学校の学びを円滑に接続させるCAN-DOリストを活用した学習指導の工夫を通して—

3 研究期間

平成27年度（1年間）

4 研究の方法

- (1) 各教科ごとに研究協力員を委嘱して，4回の研究協議会を開催する。
- (2) 研究主題「学習指導上の課題を踏まえた，児童生徒の学びの充実を図る授業づくり」を設定するとともに，各教科ごとに教科別研究主題を設定して研究を進める。
- (3) 各教科別研究主題に基づき，校種ごとに研究協力員の所属校で，授業研究を実施する。

5 研究主題について

現行の教育課程においては、確かな学力として、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことが求められている。

本教育研修センターにおいては、平成21年度から平成26年度まで、確かな学力の育成を目指し、確かな学力の一つである知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育む学習指導及び評価について、実践的な研究に取り組んだ。具体的には、教科等の特性に応じた言語活動の充実、課題を解決する過程の工夫、「思考・判断・表現」の観点に係る学習状況の評価の工夫などを通して、学習指導及び評価の在り方を追究してきた。本年度研究に取り組む教科等（算数・数学、音楽、体育・保健体育、外国語活動・外国語（英語））では、この6年間の取組の主な成果として、以下のことが挙げられる。

- ・根拠を明らかにしながら考えたり表現したりすること
- ・表現に対する願いや考え、意図をもつこと
- ・自分の課題に応じた運動の取り組み方を工夫すること
- ・自分の考えなどを英語で表現しようとする意欲を高めること

一方で、各種調査等から捉えた児童生徒の現状を現行の学習指導要領の目指す確かな学力に鑑みると、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ったり、習得した知識・技能を活用する力や態度及び思考・判断したことを適切に表現する力を育てたりすることなどについて、未だ課題が見られる。確かな学力を更に育成するためには、その課題を解決していくことが必要であると考え。

現行の教育課程における現状と課題を踏まえ、平成25年6月に策定された「第2期教育振興基本計画」（文部科学省）においても、計画期間の平成25年度から平成29年度に実施すべき教育上の方策（四つの基本的方向性に基づく、8の成果目標と30の基本施策）の一つに、「確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」が示されている。

そこで、本研究では、確かな学力の更なる育成を目指し、国や県の指針、各種調査結果等から、各教科等における児童生徒の現状を把握し、各教科等で「育むべき力」を明らかにする。そして、児童生徒の現状から、学習指導上の課題を捉え、何（内容）をどのように（方法）学習・指導すればよいのか、という視点で授業づくりを行う。具体的には、学習・指導内容の焦点化を図ったり、系統性を明らかにしたりするなど、学習・指導内容を整理し、その内容に応じた学習活動や学習過程の工夫などの手立てを講じる。このように、学習・指導の改善・充実を図ることを通して、各教科等で「育むべき力」を確実に育てることが、児童生徒の学びの充実を図ることにつながると考え、本研究主題を設定した。

6 研究のねらい

本研究は、各教科等の学習指導上の課題を踏まえた、児童生徒の学びの充実を図ることを目指し、具体的な手立てを講じた授業研究に取り組むことを通して、確かな学力を育成するための授業づくりの改善・充実に資することをねらいとしている。